*2017年4月　改訂（第2版）
2016年3月　作成（第1版）

医療機器認証番号　：　227AABZX00118000

機械器具51　医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器　非中心循環系動脈用カテーテル　10689002

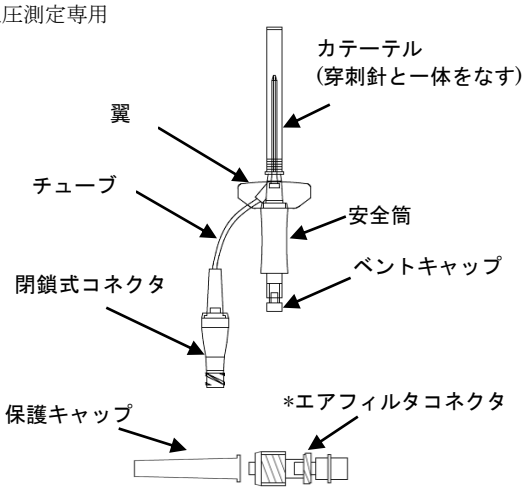
Aキャス

再使用禁止

【警告】
●カテーテルを患者から抜去した後に、カテーテルの破断や欠損がないか確認すること。
●閉鎖式コネクタに延長チューブ等を接続する場合は、必ずルアーロック式のものを使用すること。[接続部が外れるおそれがある。]
●閉鎖式コネクタのメスルアーには、内径が1.549mm未満のオスルアーを持つ延長チューブ等を接続しないこと。[閉鎖式コネクタの内部部品を破損させて薬液漏れや汚染の可能性がある。]

【禁忌・禁止】
●再使用禁止
●再滅菌禁止
●カテーテルから穿刺針を抜き取る際は、途中で止めないこと。また、穿刺針をカテーテル内で患者方向に進めないこと。[カテーテルが破損し、破断するおそれがある。]

＊【形状・構造及び原理等】
＜本品の基本構成＞
血圧測定専用



カテーテル：ポリウレタン
穿刺針：ステンレス鋼
チューブ：ポリウレタン
閉鎖式コネクタ：ポリカーボネート/シリコーンゴム
＜サイズ一覧＞

ゲージ	カテーテル外径	カテーテル長	カラー
20G	1.00mm	32mm	ピンク
22G	0.90mm	25mm	ブルー
24G	0.74mm	19mm	イエロー
26G	0.64mm	19mm	パープル

【使用目的又は効果】
本品は、血管に挿入留置し、血圧測定に用いる動脈用カテーテルである。

【使用方法等】
(1)滅菌手袋を装着する。
(2)汚染や損傷に十分注意し、包装内からカテーテル本体とエアフィルタコネクタを取り出す。
(3)製品に破損が無いことを確認する。
(4)エアフィルタコネクタの保護キャップを外し、閉鎖式コネクタに接続する。
(5)翼を保持し、安全筒を2～3mm後ろに引き、元の位置に戻す。
(6)穿刺部位を消毒する。
(7)穿刺針の刃面が上になるように翼を保持して、血管穿刺する。
(8)穿刺針を通じてベントキャップまで血液の逆流が見られたら、安全筒を固定したままカテーテルだけ必要な深さまで進める。
(9)翼を皮膚上に安定させ、もう片方の手で安全筒を保持し安全装置が完全に作動するまで、穿刺針をまっすぐ引き抜く。
(10)穿刺針は針先が収納された状態で廃棄する。
(11)チューブ内の血液逆流を確認後、閉鎖式コネクタからエアフィルタコネクタを取り外す。
(12)本品内の空気除去及びヘパリンロックのために、吸引・フラッシュを行う。
(13)閉鎖式コネクタと延長チューブ等を接続する。
(14)カテーテルを皮膚に固定し、ドレッシング等で穿刺部位を保護する。
＜使用後の製品の抜去＞
●本品の使用が終了したら、閉鎖式コネクタと延長チューブ等を接続させたまま、カテーテルを抜去し廃棄すること。
＜併用する医療機器＞
●併用するトランスデューサは既承認･認証のトランスデューサを用いること。

【使用上の注意】
1.相互作用
●使用中は、本品の破損、嵌合部の緩み及び漏れ等について定期的に確認すること。
●穿刺針の再穿刺をしないこと。
●カテーテルが抜けた場合等、やむをえず再度穿刺する場合は、新しい製品を使用すること。
●エアフィルタコネクタを使用前に濡らさないこと。
●閉鎖式コネクタに金属針等の鋭利なデバイスは使用しないこと。
●ポリカーボネートを使用しているコネクタ等には、「脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はエタノール等の融解補助剤などを含む医薬品及びエタノールを含む薬剤」により、ひび割れが生じるおそれがあるので注意すること。
2.重要な基本的注意
●屈曲部へ留置しないこと。
●血栓ができるおそれがある場合、ヘパリン生食等でロックするなどし、閉塞防止策をとること。
●閉鎖式コネクタに延長チューブ等を接続する場合は必ず接続部を確実に消毒すること。
●先端形状の変更は、カテーテルが破損する可能性があるので絶対に行わないこと。
●包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意して、医療用廃棄物として処分すること。

【保管方法及び有効期間等】
[保管方法]
●水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。
●本品を折り曲げたり、下積みなどで押しつぶさないよう注意すること。
[使用期限]
●包装（ラベル）に使用期限を表示している。[自己認証による]
[使用期間]
●72時間[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
[製造販売元]
フォルテグロウメディカル株式会社
電話番号 0283-22-2801
[販売元]
日本コヴィディエン株式会社
電話番号 0120-998-971